

Unityを日本語化する手順

UnityHubを使う方法と使わない方法を解説します。

今回は「Unity 2019.3.2f1」を使いますが、「2018.4.17f1」でもできます。



まずは「Unity Hub」を起動します。

※Unity Hubを使わない方法はあとのページで紹介します。

「Unity Hub」を起動したら、左側のインストールをクリックします。



「**2019.3.2f1**」の右上にある「**:**」をクリックして、「**モジュールを加える**」をクリックします。
「2018.4.17f1」でもできます。

Unity Hub 2.2.2



プロジェクト

使い方を学ぶ

インストール

インストール

リストに追加

インストール

モジュールを加える

エクスプローラーで表示

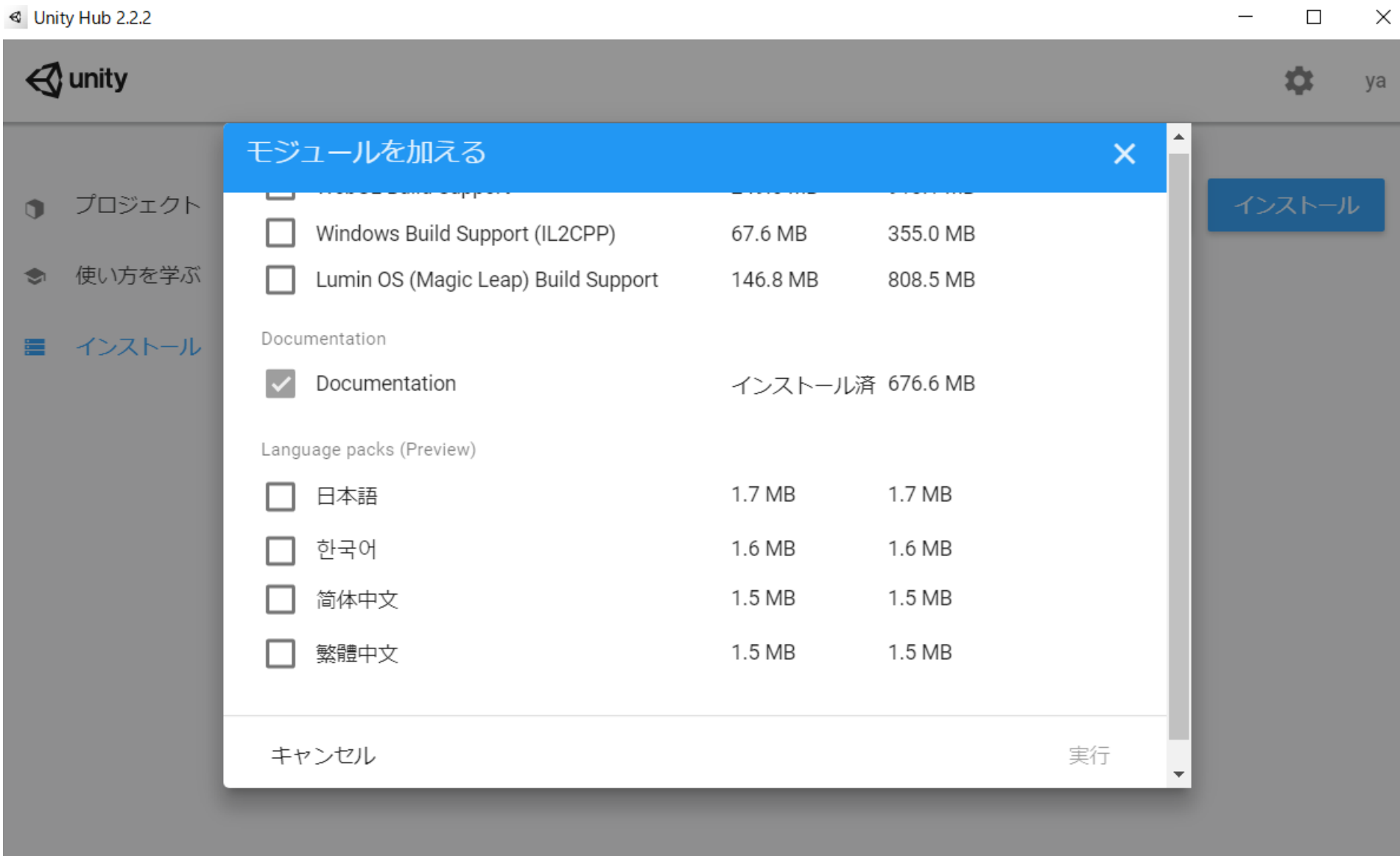
アンインストール



2018.4.17f1 LTS ⓘ

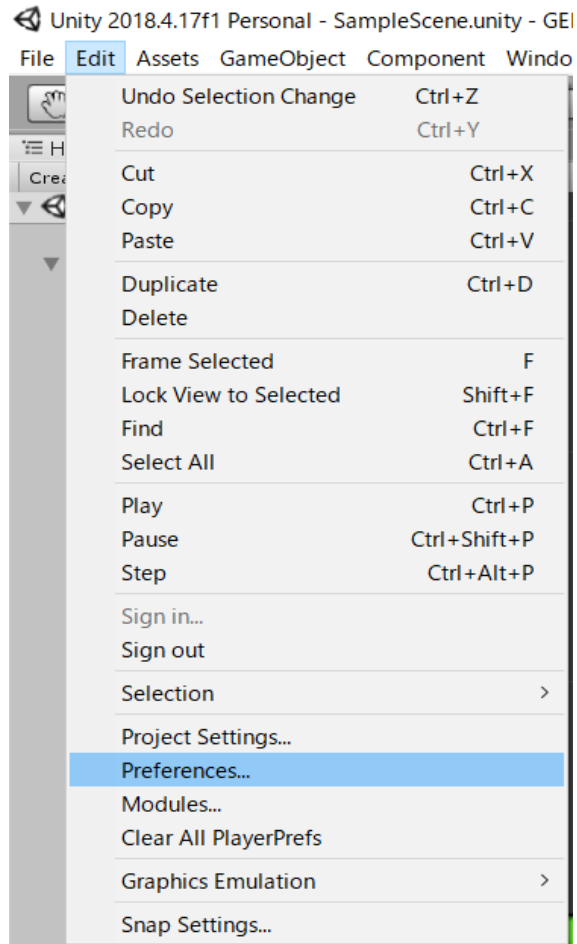


「**モジュールを加える**」画面を下にするロールすると「**Language packs(Preview)**」にある、「**日本語**」にチェックを加えて、「**実行**」をクリックします。



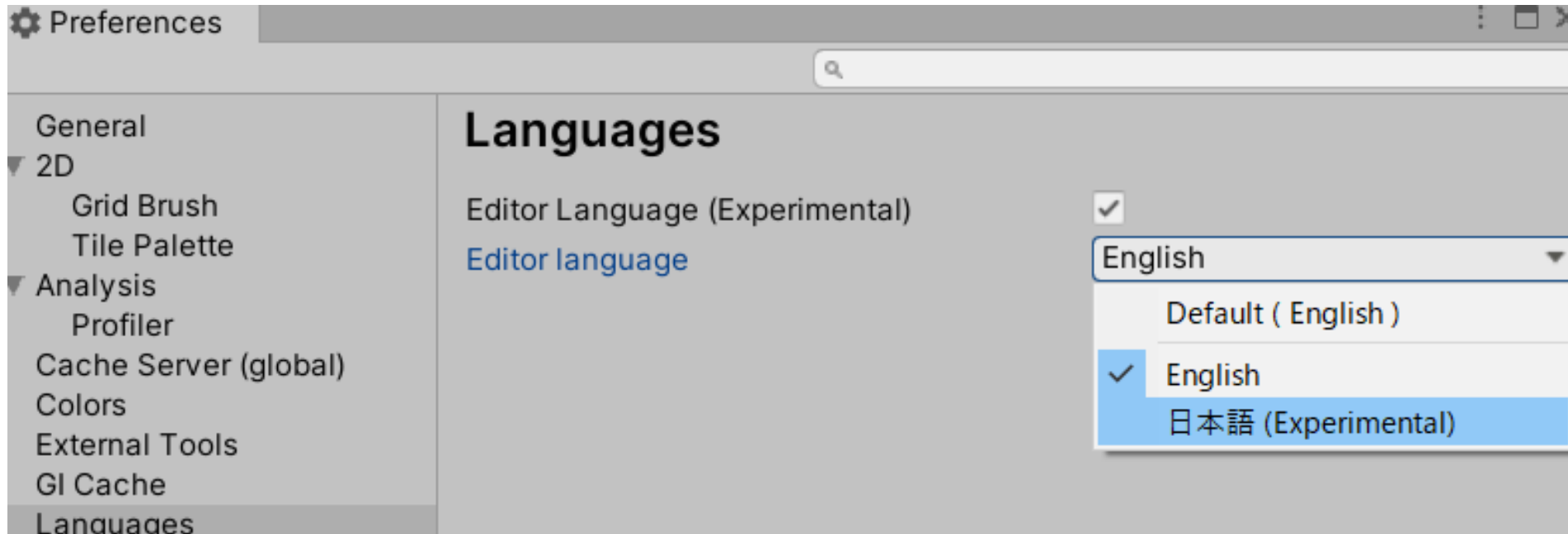
インストールはすぐに終わりますので、次は「Unity 2019.3.2f1」を起動します。

私の環境では、起動するとすでに日本語化されていますが、されていない人は「**Edit(編集)**>**Preferences(環境設定)**」を開きます。



「Editor language」をクリックして「日本語化(Experimental)」を選択します。
選択すると日本語になりますが、念の為にUnityを再起動させておきましょう。

※「2018.4.17f1」でも同じ手順で日本語化できます。



以上でUnityHubを使った日本語化手順は完了です。

UnityHubを使わない方法を解説します。

https://file.yama2211.biz/pub/Unity_ja/に移動します。

../			
2018.4.17f1_ja/	25-Feb-2020 12:50	-	
2019.2.21f1_ja/	25-Feb-2020 13:02	-	
2019.3.2f1_ja/	25-Feb-2020 13:03	-	
Unity_ja.pdf	21-Feb-2020 13:44	581K	(Unity_ja.pdfはこのPDFファイルと同じです。)

バージョン別にフォルダがありますので、自分のバージョンをクリックします。
今回は、2019.3.2f1をクリックします。

../			
ja.po	25-Feb-2020 13:03	2M	
ja.po.html	25-Feb-2020 13:03	2M	

「ja.po」をクリックすると、ダウンロードできます。

次に、Unityをインストールしたフォルダ->Dataを開き、**Localization**という名前のフォルダを作成します。
作ったLocalizationフォルダにダウンロードしたja.poを入れます。

あとは、前ページ同様の手順(Edit>Preferences>Editor language)で日本語を選びます。

※ダウンロードリンクについては**自己責任**でダウンロードしてください。